



HOLBERG  
PRIZE

エンバーゴ（解禁時間）：14日3月2024年、日本時間 17.25 時

## ホルベア賞はアフリカ出身の一流の知識人の一人に

（ベルゲン、ノルウェー、14日3月2024年）

本日、2024年のホルベア賞受賞者はカメルーン出身のアシル・ムベンベ氏だという発表があります。ムベンベ氏はアフリカの歴史学や政治学の分野で画期的な研究によって選ばれました。

ホルベア賞は、毎年人文科学、社会科学、法学及び神学の分野への顕著な貢献をした研究者を表彰しています。ホルベア賞は賞金が600万ノルウェークローネで（約8400万円）、2003年にノルウェーの立法府に樹立されました。受賞者はホルベア賞に対応する研究分野で決定的な影響を国際的に与えたのは条件です。ムベンベ氏は6月6日にベルゲン大学の式場で賞を受けます。

アシル・ムベンベ氏はヨハネスブルグにあるウィットウォーターズランド大学で歴史学や政治学の教授として勤めています。アフリカ歴史、ポストコロニアル理論及び政治哲学の分野の推進者として、ムベンベ氏は脱植民地化について質問を人種差別、パンデミック、気候危機及び人工知能と結びつけます。

ポストコロニアルのアフリカ研究の分野に大きな貢献をしたムベンベ氏は、人種差別について考えを進めて、全世界の人間が平等な条件で貴ぶ人道主義をどうやって進めることを努力しています。アフリカ大陸出身の学者の間、ムベンベ氏の著書は最も多く読まれて、引用されて、その上、有力な知識人や政治活動家です。例えば、過去3年間にムベンベ氏はフランス大統領マクロン氏とともにアフリカ大陸に新しい政策立案を協力しています。

### 抑圧との闘い

ムベンベ氏の最古の作品は植民地の暴力で、アフリカ人たちの抵抗や独立のための闘争をフォーカスする。とくに、国家権力を分析しました。そのため、ポストコロニという用語を再考しました。ムベンベ氏のポストコロニ理論の研究は、古くて、破壊的な社会組織から、暴力的で、人種差別の政体が発生したことと強調しました。

ムベンベ氏の著書は17言語に翻訳されました。有名な著書の例はポストコロニアルのアフリカの観念に挑みます *On the Postcolony* (2000/2001年) という著書です。画期的な著書 *Critique of Black Reason* (2013/2017年) に、彼は黒人が人間より動物として見なされて、そして黒らかの観念

は資本主義の方便とすることを論じる。同時に、ムベンベ氏は黒人からの人種差別批判が時々人種差別問題を行き続けると主張しています。

*Necropolitics* (2016/2019年)という著書に、ムベンベ氏は疎外されているコミュニティにいる人たちは自分の命、苦しみ及び死を決める人に左右されていることを扱いました。民主的な価値観、権利や自由権は増大する人種差別、ファシズム、民族主義な権力に抑制されると思って、もっと正当な世界を作るために、人間を新しく理解するのは必要だと言いました。

### 普遍的な人間性は認めなければなりません

ムベンベ氏は自分の研究に基づかれる最も重要な質問をそう伝えています:「私達人間は世界やその世界を生き方をどうやって再考するか」・「人間の人生や行為が織り込まれていることという真実を含まれているグローバル意識に栄養をどうやって与えるか」・「現在に結ばれた過去の人種差別、植民地化や人種隔離を克服する未来どう切り開くか」

ムベンベ氏は「私の生命中にそういう問題は研究の中心だ」と言います。「その問題の後ろに、もっと大事な質問があります:未来の命をどうやって直して、再現して、維持して、それに世話をしますか。その命をどうやってみんなで共有して、永続化しますか」

ホルベア賞選考委員長ハイケ・クリーガー氏はムベンベ氏はふさわしい受賞者だと言って、彼の研究は人類の普遍的な理解を中心します:「ムベンベ氏にとってその理解が歴史的真相を認めるという言葉が含まれて、その上、人間は世界南北の分断を超えて教えることや覚えることも必要という意味です」とクリーガー氏が言いました。

報道機関の写真・伝記・ホルベア賞選考委員会の発表及びホルベア賞について情報はこちら <https://holbergprize.org/en/press-room> (英文)

### 窓口、ホルベア賞の事務局

コミュニケーションアドバイザー オレ・サンモ氏 (Ole Sandmo)

電話: +47 98 0018 78

[ole.sandmo@uib.no](mailto:ole.sandmo@uib.no)